



# すこやか通信



## 横須賀市医師会の活動

### 横須賀の医療者による新型コロナへの取り組み

横須賀市医師会 理事 がん検診統括長  
マールクリニック横須賀 院長

水野 靖 大



この原稿はオミクロン株による第6波が急拡大し始めた頃のもので、皆さんが文章を読む頃は違った状況かも知れませんが、第5波の最中に横須賀の医療者が命の選別という悲劇を避けるために講じた対策について書きます。

新型コロナウイルス感染の大きな問題は感染拡大の際に患者数のピークが高く、医療崩壊をおこせることです。その際には患者さんに等しく十分な医療が行えず、救える命が救えなくなります。

医療崩壊を避ける一つの方法は感染者数を減らすことですが、ワクチンがこれに当たります。しかし接種は道半ばですし、変異株や抗体価減弱の問題もあります。他の方法は中和抗体療法による重症化防止です。中和抗体療法とは重症化リスクが高い軽症者に薬を投与し重症化を防ぐものです。治療は外来でも行えるのでコロナ重点病院（重症者の加療を行う病院）以外でも行えます。ただし、中和抗体療法は早期の開始が重要で、コロナが確認された場合に速やかに適応を確認し治療を行う病院につなぐシステムが必要でした。そこで、患者さんの情報を横須賀市医師会事務局に集約し、中和抗体療法を行う病院に速やかに紹介する体制を構築しました。

また、施行病院は施行後24時間対応できる体制をとり施行後の副作用に対応します。さらに万一重篤な副作用や原疾患の増悪の際にはコロナ重点病院がバックアップする体制もとっているので安全も担保されています。

この体制により、重症化して入院治療が必要な患者さんが減ると、重点病院では入院患者さんに十分な医療が行え、命が救えます。

オミクロン株には効かないのではと心配な人がいるかもしれませんが、コロナにはがっかりさせられ続けですからその心配も当然です。しかし、医療は短期間で進歩しています。これまでのロナプリーブという薬はオミクロン株に効果がありませんが、ソトロビマブという効く薬が開発されました。さらに、ラゲブリオという内服薬もオミクロン株に効果があり、状況により点滴と内服を使い分ける体制も構築しました。今後もしも変異株が出てくるかもしれませんが、皆さんが安心できるように医療者みんなで対策を行っていきます。

最後にお願ひです。治療薬は効果的に重症化を防いでくれます。しかし効果には限界があり、軽症であっても長く後遺症に悩まされる場合もあります。ワクチン接種、マスク、手洗い、人混みに行かないなどの対策を引き続きよろしくお願ひします。



## 循環器科 (5)

杉浦循環器内科クリニック 院長 杉浦 徹



### 健診で心電図の異常を指摘されたら？

健康診断の心電図検査で、様々なコメントを目にすることが多いと思います。

特に、不整脈に関する記載である、心室期外収縮、上室期外収縮、心房細動、頻脈、徐脈等の記載は多いでしょう。今回はこれらを中心に記載いたします。

不整脈には主に3つのタイプがあり、①期外収縮、②徐脈、③頻脈に大きく分けられます。

#### ①期外収縮（脈がとぶタイプの不整脈）

正常な拍動の間に、時々不規則な拍動が混入するものです。無症状の方もいますが、主な症状としては、一瞬ドキンとする、胸がつまるような感じがする、心臓が飛び出そうになる等の表現をされる方もいます。期外収縮には、心室から発生するもの、心房から発生するものがあり、後者はあまり問題となることは多くなく、前者に関して少し述べてみたいと思います。通常治療が不要なことが多いですが、非常にその数が多い（全心拍数の10%以上）場合や、動悸症状が強い方は治療の適応になる場合があります。治療としては、まず薬物療法、場合によってカテーテルによる治療が必要なこともあります。

#### ②徐脈（脈が遅いタイプ）

拍動が異常に遅かったり、間隔が長くなったりするものです。

心拍数が50回/分未満のものを徐脈と呼び、通常生命に関わることはあまりありませんが、脈が遅いと心臓から出る血液の総量が少なくなり、脳への血流が不足すると、めまい、失神を起こすことがあります。また、だるい、息切れがする、足がむくむ等の症状が出現することがあります。この場合は、治療が必要であり、一定以上の心拍数を保つために、ペースメーカー治療が必要なことがあります。

#### ③頻脈（脈が速いタイプ）

拍動が速いもので、頻拍と細動の2つに分けられます。

頻拍は心拍数が100回/分以上になる不整脈、細動は250回/分以上の電気信号が発生するため、心臓がおいつかずに不規則で弱くなってしまう不整脈です。

心房に細動が起こる『心房細動』は、脳梗塞の原因になることがあり、治療が必要です。

以上、不整脈を大きく3つのタイプに分けて簡単に書きましたが、このようなコメントの記載を受けられた際には、症状の有無に関わらず、一度受診をお勧めいたします。

また、ST-T異常、T波異常、高電位（R波増高）、低電位差等の記載は、必ずしも病的な意義がある訳ではありませんが、冠動脈（心臓の周りの太さ3-4mmの血管）の病気、心臓の筋肉の特殊な病気、高血圧による心臓の筋肉の変化、甲状腺の病気等が隠れていることもあることを付け加えておきます。

# 泌尿器科 (1)

よこすか女性泌尿器科・泌尿器科クリニック 院長 奥井伸雄



## 前立腺肥大症（初期）の治療

みなさんこんにちは。今回から泌尿器科にまつわるお話を解説する奥井伸雄です。2021年に日本メンズヘルス医学会の会長に選出されまして、本年医学会を開催することになっています。コラムでは、男性、女性に関係なく、興味深いエッセンスをお伝えします。

さて、最初のテーマは前立腺です。前立腺という臓器は、膀胱と尿道の間にある男性特有の臓器。くるみ大の大きさのもので、排尿・射精の役割を担います。これが今まで知られてきた前立腺という臓器の特徴なのですが、最近の研究で様子が変わってきました。まず、膀胱・前立腺・尿道と区別するのは実のところ難しいものがあります。なぜなら、この臓器は一つの細胞から生まれてきて、変化したからです。ですから、膀胱の中に前立腺によく似た細胞もありますし、尿道にもあります。尿道の筋肉が変化したものが前立腺ととらえることもできます。なんと女性の尿道にも前立腺とおなじ特徴をもつ細胞が多数あります。その特徴は、テストステロンという男性ホルモンです。

男性ホルモンというのは、文字通り男性に多いホルモンで、いくつかの種類がありますが代表的なのがテストステロンです。このテストステロンは、女性にもたくさんあることが最近わかりました。ですから、男性は男性ホルモン、女性は女性ホルモンという区別そのものをホルモン学の世界では変えようということになり、女性の尿道でのテストステロンの役割や、男性の尿道・前立腺・膀胱での役割を研究するようになりました。たとえば、前立腺においてテストステロンは、細胞の炎症を改善させて、新しい細胞をつくる性質があることがわかってきました。

前立腺肥大症に話をすすめますと、最初にお話ししたようにクルミ大の大きさをしているのですが、疲れた物質（酸化物質といいます）がたまったり、炎症を起こしたりすると浮腫んでしまいます。この時期から何度も尿意を感じるとか、いつも残尿がたまっているように感じます。前立腺肥大症の初期にあたります。そこで、テストステロンを補充したり、尿道前立腺への血流改善目的でED（勃起不全）治療薬を投与すると改善します。しかし、この時期を過ぎると、前立腺が硬く大きくなりすぎて、前立腺を縮小させる薬や尿道を広げる薬、テストステロンを下げる薬を処方するという以前からある治療になっていきます。

今回は進行した前立腺の治療についてお話ししましょう。



# 横須賀市救急医療センター



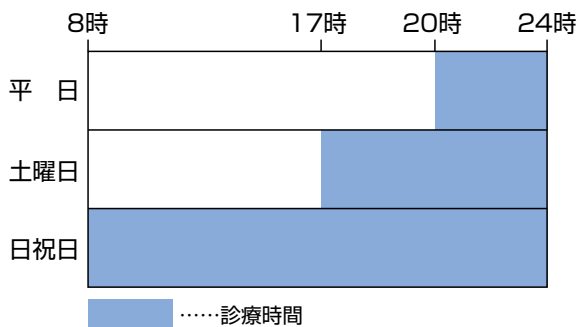
診療科目 内科・小児科・外科

〒238-0005 横須賀市新港町1-11

☎824-3001

横須賀市救急医療センターは、横須賀市医師会が管理・運営をしております。  
横須賀市医師会では、市民の皆様安心していただける  
質の高い医療を提供しております。

## 診療時間



年末年始 12月29日16時～  
1月4日8時まで24時間診療

## 案内図



横須賀市医師会は、市民の皆様により良い医療を提供できるよう

これからも努力していくつもりでありますので、

よろしくご支援をお願いいたします。

詳しいことは横須賀市医師会ホームページ

<http://www.yokosukashi-med.or.jp>

にアクセスしていただきますようお願いいたします。

横須賀市医師会  
モバイルサイト



<http://yokosukashi-med.or.jp/mobile/>

一般社団法人 横須賀市医師会

〒238-0005 横須賀市新港町1-11 TEL 046-822-0542 FAX 046-823-4534